



製品別原価計算



製造業の場合儲かったかどうかを判断するには、「入ったお金」から「出たお金」を差し引けばわかりません。しかしこの方法では、結果がでるまで利益金額がわからず、また製品別の利益金額もわかりません。製造業の利益は生産する製品の1つひとつの利益の集まったもので、製品ごとの原価と利益がわかっていなければなりません。そのために、製品別原価計算を実施いたします。

製品別原価計算の費用区分



ヒト・モノ・設備を製造の3要素といいます。その他工場で発生する費用には、外注費・旅費・通信費・動力照明費などの項目があります。原価計算に使用する区分には製造現場で発生するすべてを含めます。また、発生する金額を製品の原価として、そのまま集計できる費用と、直接的に集計しにくい費用があり、そのまま集計できる費用を直接費、そのまま集計できない費用を間接費として区分します。

製品原価計算の方法

★「直接費」

直接費とは製品に直接かかった原価で直接材料費（使われている主要な材料・部品）直接従事した直接作業者の賃金 特定製品に使われている機械の償却費・賃借料等で、発生した費用をそのまま製品別原価として集計する。特に直接労務費は、作業時間に職場の時間当たりの賃率（≒平均賃金）を掛けて算出する。

★「間接費」

製品に直接関連しない原価で、間接材料費・間接労務費・間接経費をまとめて間接費という。具体的には補助材料・消耗品などの間接材料費や運搬、動力などの間接作業者の賃金、通信費などの経費をいう。間接費はどの製品にどれだけ使用したか直接的に区分できないため製品別の作業時間で按分し製品別原価を集計します。

★「製品別原価計算」

個別製品に発生した直接費と時間等で按分した間接費をもとに個別原価を計算します。



町家のひな巡り

奈良県・高取町（第6回） 開催期間・平成24年3月1日～31日

土佐街道筋の町家約100軒に昔から受け継がれているおひな様を展示。



「それぞれの雛物語」

高取町土佐街なみにある町家には、大切に藏われている雛人形があります。どの「お雛様」にも、その家の思い出や、親子の願いが込められていて、添えて飾られている色紙には、そんな“思い出”と“願い”が綴られています。家々の「雛物語」を楽しみながら、かけがえのないあなたの思い出や願いにふれて下さい。ゆつくりと歩く高取町土佐街なみから、あなたの雛物語がはじまります。

主催：天の川実行委員会 共催：NPO法人 住民の力 協力：高取町商工会青年部
アクセス：近鉄吉野線「壺阪山」駅下車すぐ。 お問い合わせ：観光案内所「夢創館」0744-52-1150・天の川実行委員会0744-41-6140